



ひよこ組

【8月の保育のねらい】

- ・沐浴やタイでの水遊びで水の感触を楽しんだり、汗を流して気持ちよく過ごす。
- ・手や指先を使って遊ぶ。



月号 クラスだより



うさぎ組

【8月の保育のねらい】

- ・夏ならではの遊び(色水遊び・寒天・氷・片栗粉など)をダイナミックに楽しむ。
- ・脱ぎづらい時は保育士に手伝ってもらいながら、衣類の着脱を自分でやってみる。

<手指を使って遊ぼう！>

暑い日が続く、雨が降ってジメジメする日も増えていますが、そんな日は室内遊びを工夫して遊んでいます。ビニールテープや養生テープを用意して壁に貼ってみると、はじめはテープをじーっと見つめています。保育者が「はがしてごらん」と言いながらやってみせると、こどもたちもテープをはがそうと指でカリカリ…。ペリペリ～とはがせたテープを嬉しそうに持ってきてくれます。少し高いところに貼ってみると、背伸びをして取ろうとする一生懸命な姿も見られました。別の日には、新聞紙ちぎりに挑戦！保育者が広げた新聞紙を破いてみると、真似をしてこどもたちもビリビリと破いたり、クシャクシャにしていました。破いた後は保育者が集めてヒラヒラ～と上から落としたり、大きな袋に入れて風船のようにして楽しみました。「テープはがせたね！」「新聞紙、破れたね！」と一人ひとりの出来たことに共感すると、こどもたちも嬉しそうです。手指を使う楽しい遊びをたくさん取り入れていきたいと思ひます。



りす組

【8月の保育のねらい】

- ・水や氷など変化する素材に触れながら、感触遊びを楽しむ。
- ・自分で身体を動かすことを楽しむ。(リズム遊びや肋木など)

<ちやぶちやぶ、つめたーい>

「水遊びに行こう！」と言うと、持っていたおもちゃを置いて、テラスへ急ぎ足で向かうほど水遊びが大好きです。タイに入った水をそーっと触って「きゃーちゅめたい」と言ったり、両手で水面を「カエルの歌」のリズムに合わせてバシャバシャと叩いて水が跳ねてくるのを楽しんでいます。おもちゃの金魚やタコなどをスプーンですくい、お皿に入れて魚すくいをしています。「お魚とったー！」「みてー、いーっぱい」と嬉しそうに見せにしてくれます。保育者と一緒に魚すくいをすると、こどもたちも負けじと真剣な表情になり、スプーンで一生懸命取ろうとしたり、慌てて手で魚を取ります。保育者よりもたくさん取れると「ほら、いっぱい」と得意げな表情です。暑すぎてなかなか水遊びが出来ない日もありますが、その時は室内で片栗粉や氷遊びなど夏ならではの遊びをして楽しんでいます。

<やってみようかな>

6月からでんぷん糊を使って遊んでいます。初めて糊を出した時、「やりたい」とみんな興味津々で次々とやってきました。でも、でんぷん糊の“べちょ”という感触に、「もういい」とやめてしまう子もいました。でんぷん糊の感触が大丈夫だった子も、たくさん塗りすぎてべちょべちょになってしまい、「もういい」とやめてしまいました。そこで、壁一枚に青色の画用紙を貼って、魚の形に切り取った折り紙を貼って楽しむことをやってみました。魚に糊をつけ青色の壁に貼ると「くっつく」ということがわかり、「もっとやりたい」と意欲がわいてきて繰り返し楽しみ出しました。一人が楽しくやると、みんなもつられて、「もう一回、触ってみようかな」とまた挑戦するようになりました。

“楽しい！”“やりたい！”とどンドン貼っている時に、糊の使い方を丁寧に知らせました。『指の先でちよつとすくって伸ばす』繰り返し伝えることで、こどもたちからも「ちよびつととて、うすーくのぼすだよねー。できた！！」という声が聞こえるようになりました。(今後も繰り返し伝えていきます。)

魚だけではなく「タコもやりたい。」「亀もいいいねー。」「カニさんは？」とこどもたちから声が出て、ちょっとした水族館のようになりました。最初はやりたくないな…と敬遠してしまうことも、友だちが楽しそうにするのを見て、「やってみようかな」と思えるのがうさぎ組のいいところ！色々なことをみんなで経験していきたいと思ひます。



ちゅうりっぷ組

【8月の保育のねらい】

- ・暑い夏を健康で清潔に過ごす。(水分補給をこまめに行う)
- ・自分で経験したことを保育者や友だちに話そうとする。



さくら組

【8月の保育のねらい】

- ・保育者や友だちと、夏の遊びを十分楽しむ。
- ・夏を健康に過ごすための生活習慣がわかり、身の回りのことを進んで行く。



もみじ組

【8月の保育のねらい】

- ・できることを増やし、自信をもつ。
- ・プール遊びを通して前進を使った遊びを楽しんだり、水の気持ち良さを味わう。

<大好きなプール>

7月になり、待ちに待ったプールが始まりました。プール開きではプールでの約束事を話しました。プールに入りたい気持ちが強く、印象深く約束を覚えていたこどもたちです。プールに入るのも嬉しいのですが、水着を着ると友だちとファッションショーのように、「その水着、かわいいいね！」「同じプールバックだね！」とそれぞれの持ってきた新しいアイテムを見せ合っている姿もありました。

初めてのプールでは少し緊張していたこどもたちですが、入ってみると気持ち良くて笑顔が溢れていました。最初は、顔に水がかかるとが苦手な子もいましたが、少しずつ水に慣れてきて、水の気持ち良さを知り、少しならかかっても大丈夫になりました。こどもたちの大好きなワニ歩きは全身が水に入るのでまるで水中で浮いているようでとても気持ちよさそうです。おもちゃの金魚を使った金魚すくいは、こどもたちのお気に入りです。沢山すくいたい子は一度に2、3匹の金魚をすくい、慎重な子は1匹ずつ丁寧にすくっています。それぞれ性格が表れて面白いです。プールに入れない日も多いので、氷で遊んだり工夫しながら、夏の楽しい思い出を作りたいと思ひます。

<身支度>

こどもたちが楽しみにしているのにプールに入れないくらい、暑い日が毎日続きますね。入れた日にはプールでリズム、金魚すくい、ビーズ拾い、水鉄砲などを楽しんでいます。プールから上がったら着替えをして水着をしまったり、髪の毛を拭いたり、長い子はブラシで整えて結んでいます。

朝保育園に来るまでの支度はどうですか？顔を洗ったり、髪を整えたり、洋服の前後に気をつけたり。いつも整えてきれいであると、きれいに整えておくことが気持ちいいという感覚が少しずつ身についていきます。毎日の積み重ねがこどもたちの“自分でできる”という自信につながります。忙しい朝なので「今日は慌てて出てきてしまった…」という日もあると思ひますが、“自分でできるところは自分でやっていく”ということが習慣になるといいですね。

<楽しかったカレー作り>

お泊り会で作ったカレーライス。にんじん、玉ねぎ、ジャガイモ、豚肉のほかに、すりリンゴを入れるグループ、しめじやさつまいもなどの具材を増やして入れるグループ、チーズや海苔をトッピングするグループなど、4つのグループのそれぞれの工夫がありました。同じルウを使ったグループもあったのですが、出来上がるとそれぞれ見た目も違いました。「ooグループもらってもいいですか？」と気になったグループの鍋からおかわりをもらって食べていました。味の違いもはっきりわかります。「ねー今度は、秋にカレーライス作りたい」「秋になったら、さつまいもやきのこを入れて食べるとおいしいよ！」「やりたい！」「また作りたい！」とまだ食べている途中で心がすでに次のカレー作りで盛り上がっていました。おいしいカレーにどの子も自信満々やる気満々の笑顔でした。もみじ組のカレー作りはまだまだ続きます。

お泊り会の様子はホールに写真を掲示しています。ご覧ください。

